

エイケン工業株式会社

**2007年10月期
会社説明資料**



(証券コード7265)

2008年 1月7日 作成

会社概要

- **社名** : エイケン工業株式会社
- **本社** : 静岡県御前崎市門屋1370
- **資本金** : 601百万円
- **代表者** : 河野 三征
- **従業員数** : 173名 (平成19年10月末)
- **連結子会社** : (株)ビック・イースト



当社の特徴

1. 自動車用フィルター

a. 一貫生産体制

原材料の加工から組立、梱包、出荷
金型も製作

b. 販路が豊富

以下の販路を持つ

同業者（市販フィルターメーカー）
（Bタイプ・Cタイプ）

商社（カー用品店）

石油元売

SS卸商社

（ガソリンスタンドへの卸商社）

関連販売会社

（同社のVICブランドを販売）

系列メーカー

輸出

2. 燃焼機器

a. 低NOx・低COの燃
焼技術をもつ

b. 大手ガス会社と共同
開発

c. 家庭用風呂釜バーナ
から厨房機器へ展開



自動車フィルター業界

自動車用フィルター業界は、以下のように分けられる

1. 自動車メーカー系列のメーカー (純正)

- 自動車生産ライン装着向け
(新車組み付け用)
- 自動車メーカー系列のディーラー
(補修用)

2. 市販メーカー (優良)

整備工場、ガソリンスタンド、カー用品店
(補修用)

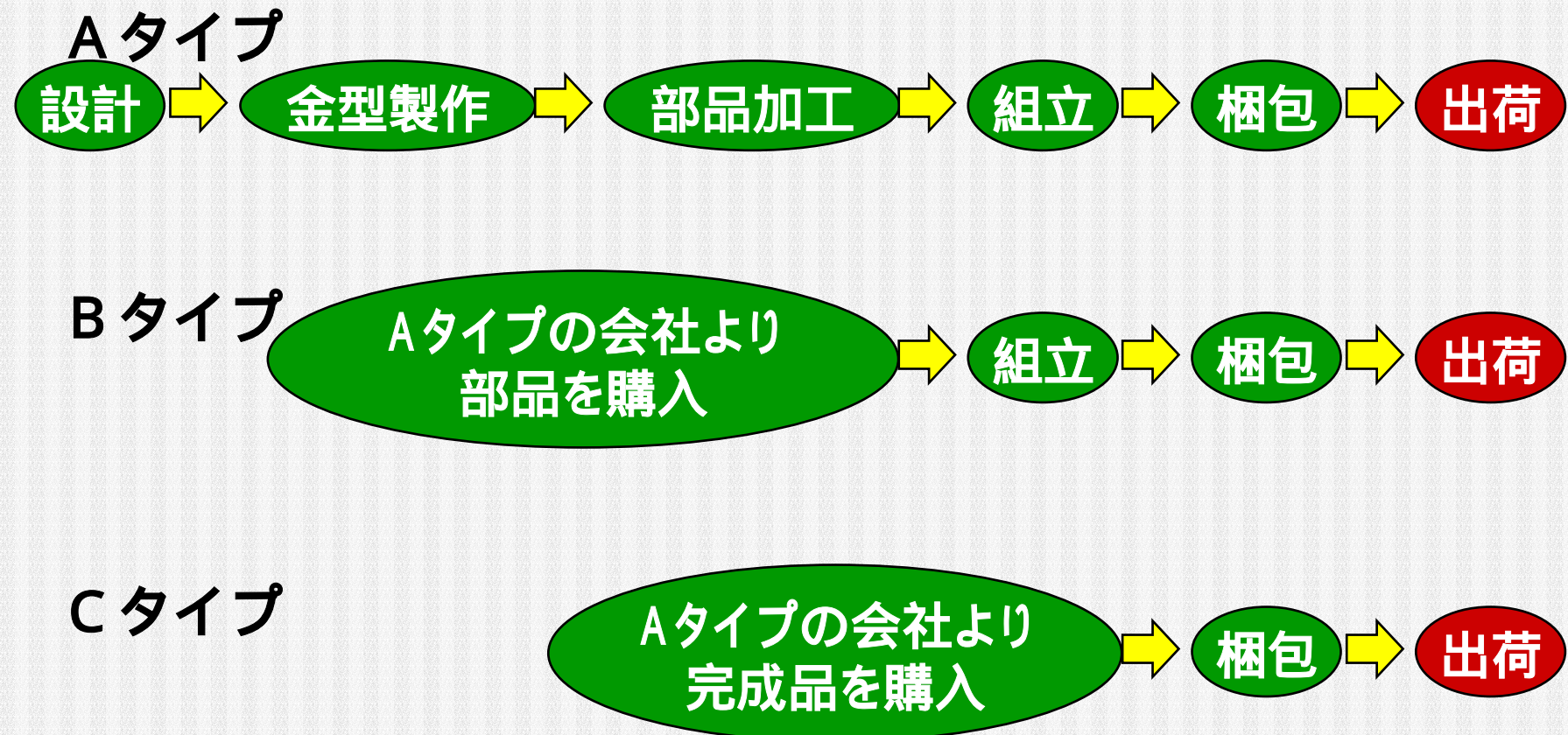
但し、補修用は、自動車メーカー系列、市販メーカーの境がなくなり、自動車メーカー系列も、第2純正ブランドとして、整備工場、ガソリンスタンド等にも供給している。又、カーディーラーでアフターサービスを積極的に進め、顧客の抱え込みを強化している。

よって、市販メーカーは厳しい状況である。



市販フィルターメーカーのタイプ

市販フィルターメーカーは、以下のタイプがある





燃焼機器事業（当社変遷）

1. 昭和51年からプレス加工技術を生かして風呂釜用のバーナを製造し、風呂釜製造メーカーに販売。（長府製作所等）
2. 給湯器の開発に取り組む。
3. 炎孔部にセラミックを使った低NOx、低CO、低騒音、コンパクトなバーナを開発し、ボイラーメーカー等に販売。（三浦工業等）
4. コインランドリー用のバーナを製造、販売（三洋電機）
5. 平成10年、某厨房機器メーカーと共同で、大手ファーストフード向けフライヤーを開発。（特許取得済み）
6. 東邦ガスと共同で、浸管タイプの熱交換器を使用したフライヤー（据え置型）を開発（平成13年に省エネ大賞、平成14技術賞を受賞）
7. 某厨房機器メーカーの依頼で、フライヤーに使われている熱交換器を利用した蒸し器を開発。
8. 東京ガス、某厨房機器メーカー、大手外食企業の関連会社と共同で、同大手外食企業向け卓上型フライヤーを共同開発。
9. 当社独自で沸騰させずに麺を茹で上げる茹で麺器を開発、販売開始。



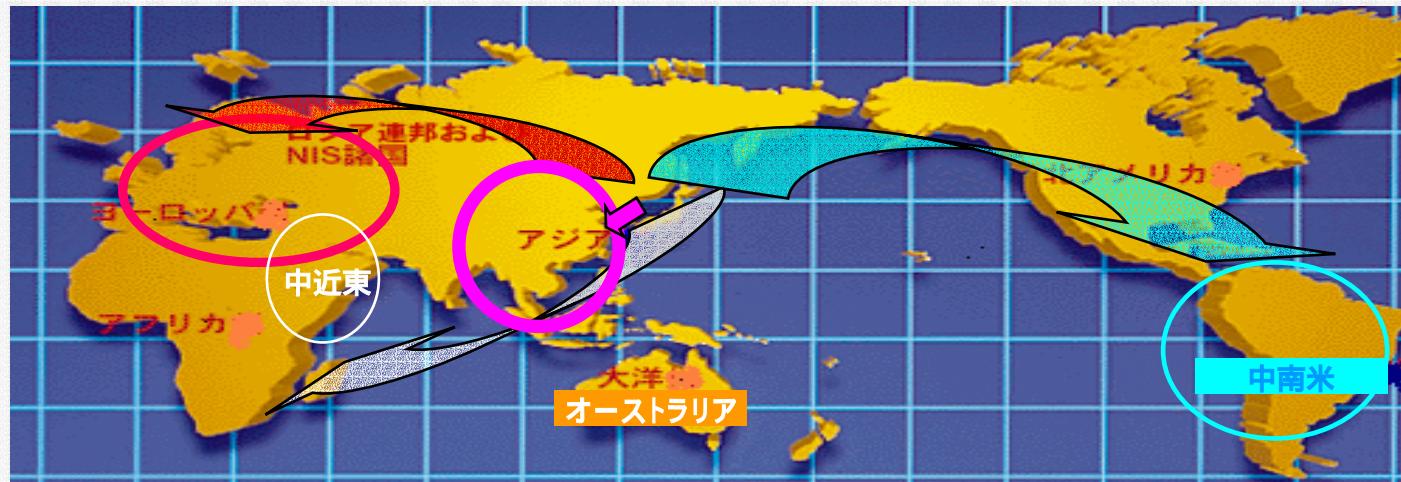
部門別販売実績（個別）

（単位：百万円）

	2006年10月期		2007年10月期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
フィルター部門	3,885	90.7	4,143	92.3	106.6
国内	2,612	61.0	2,655	59.1	101.6
輸出	1,272	29.7	1,488	33.1	116.9
燃焼機器部門	396	9.3	347	7.7	87.6
合計	4,282	100.0	4,490	100.0	104.9



地域別輸出売上高（個別）



(単位：百万円)

	2006年10月期		2007年10月期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
ヨーロッパ	399	31.3	504	33.9	126.5
アジア	754	59.3	853	57.4	113.2
その他	119	9.4	129	8.7	108.4
合計	1,272	100.0	1,488	100.0	116.9



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2006年10月 実績	2007年10月 実績	前期比(%)
売上高	4,897	5,064	3.4
売上総利益	1,256 (25.7%)	1,248 (24.7%)	0.6
営業利益	318 (6.5%)	341 (6.7%)	7.3
経常利益	321 (6.6%)	348 (6.9%)	8.5
当期純利益	183 (3.7%)	207 (4.1%)	12.8

2007年10月 計画	計画比(%)
4,860	4.2
1,181 (24.3%)	5.7
293 (6.0%)	16.6
295 (6.1%)	18.0
171 (3.5%)	20.8

1. 前期比較

- ・売上高の増加 ----- 輸出売上高の増加による。
- ・利益の増加 ----- 売上高の増加による。

2. 計画比較

- ・売上高の増加 ----- 輸出売上高の増加による。
- ・利益の増加 ----- 売上高の増加による。



損益計算書（個別）

（単位：百万円）

	2006年10月 実績	2007年10月 実績	前期比(%)
売上高	4,282	4,490	4.9
売上総利益	951 (22.2%)	962 (21.4%)	1.1
営業利益	298 (7.0%)	329 (7.3%)	10.5
経常利益	312 (7.3%)	346 (7.7%)	11.2
当期純利益	176 (4.1%)	199 (4.4%)	12.8

	2007年10月 計画	計画比(%)
	4,363	2.9
	919 (21.1%)	4.7
	295 (6.8%)	11.8
	307 (7.1%)	12.6
	180 (4.1%)	10.4

1. 前期比較
 - ・売上高の増加 ----- 輸出売上高の増加による。
 - ・利益の増加 ----- 売上高の増加による。
2. 計画比較
 - ・売上高の増加 ----- 輸出売上高の増加による。
 - ・利益の増加 ----- 売上高の増加による。



キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)

科 目	2006年10月期	2007年10月期	増 減
営業活動	246	246	0
投資活動	76	328	252
財務活動	166	147	18
現金及び現金同等物の増加・減少	5	228	234
現金及び現金同等物の期首残高	797	802	5
現金及び現金同等物の中間期末残高	802	574	228

- 1．投資活動による支出の増加
有形固定資産の取得による支出の増加及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出
- 2．現金及び現金同等物の減少
投資活動による支出の増加



セグメント情報（連結）

1. フィルター事業

(単位：百万円)

	2006年10月期	2007年10月期	増減
売上高	4,500	4,717	217
営業利益	588	606	18

2. 燃焼機器事業

	2006年10月期	2007年10月期	増減
売上高	396	346	50
営業利益	20	23	3



利益計画

(単位：百万円)

	2007年10月期(実績)		2008年10月期(計画)		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,490	100.0	4,746	100.0	105.7
売上総利益	962	21.4	1,021	21.5	106.1
販売管理費	632	14.1	633	13.3	100.1
営業利益	329	7.3	388	8.2	117.8
経常利益	346	7.7	400	8.4	115.5
当期純利益	199	4.4	228	4.8	114.6

注.2008年10月期から非連結決算(個別決算)となります。



2008年10月期設備投資計画

3 1 1 百万円

機械装置	137百万円
金型	50百万円
その他	122百万円
合計	311百万円



今後の当社の取り組み（生産体制）

- 1 . 300 t プレス機械の生産体制構築
- 2 . 自動二輪車用燃料フィルターの量産
- 3 . 生産コストの削減

今後の当社の取り組み（フィルター部門）

高性能フィルターの拡販（既存品との差別化）

大型車用フィルターの拡販。（量から質へ）

自動二輪車用燃料フィルター受注を増やす

新規顧客開拓・新製品開発



今後の当社の取り組み（燃焼機器部門）

フライヤー、茹で麺器の拡販

熱交換器（浸管）の拡販

各種バーナの拡販

エイケン工業株式会社

会社内容、IR関連など資料のご請求及び、お問い合わせ先

エイケン工業株式会社

経営企画管理室

IR情報担当 池田まで

TEL : 0537 - 86 - 3105

FAX : 0537 - 85 - 2033

E-mail :

kikaku@eiken-kk.co.jp

当社のホームページアドレス

<http://www.eiken-kk.co.jp/>

エイケンは、補修用自動車フィルタの市販品NO. 1メーカーです。

 **エイケン工業株式会社**

 **「ISO 9001」認証取得**
(フィルター関係)

省エネ大賞受賞(平成12年度)
省エネルギーセンター会長賞
(高効率マイコンフライヤー GF-24)

 VICBOYを
クリックして下さい。

008143



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的には依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわないようお願いいたします。